



遠い遠い

はるか昔に

source message

sou

source message

遠い遠いはるか昔に

sou



ゝ愛が足りない！ゝ ってよく言われるけど、

その通りだ！ 僕は叡智の魂だから。

ゝもう少し考えたら？ゝ ってよく言われるけど、

その通りよ！ 私は愛の魂だから。

僕が愛を出したいときは、君を想うだけでいい。

私が叡智に触れるときは、あなたを強く感じるわ。

だから、

二人が一つになれば、

ちょーど良いんだけどね。



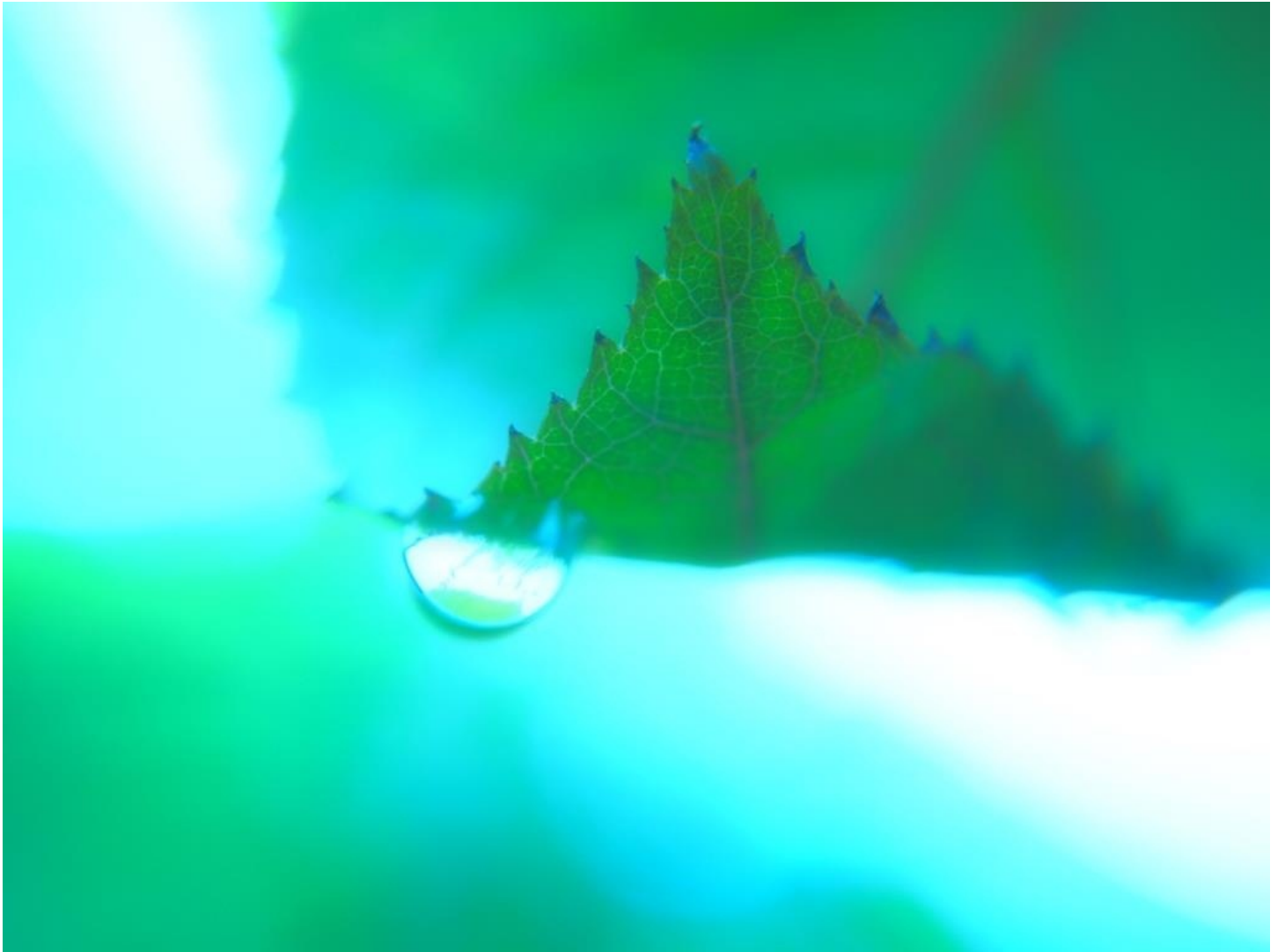
花を美しく想うのは、あなたの愛を感じるから・・・



鳥の自由さに憧れるのは、あなたをいとおしく想うから・・・



風を優しく感じるのは、あなたで全てが満たされるから・・・



月の輝きに惹かれるのは、あなたへの愛を忘れないから・・・



時代を超え、場所を超え、

愛は届く、繋がり会う。

そこに、信じる心がある限り、

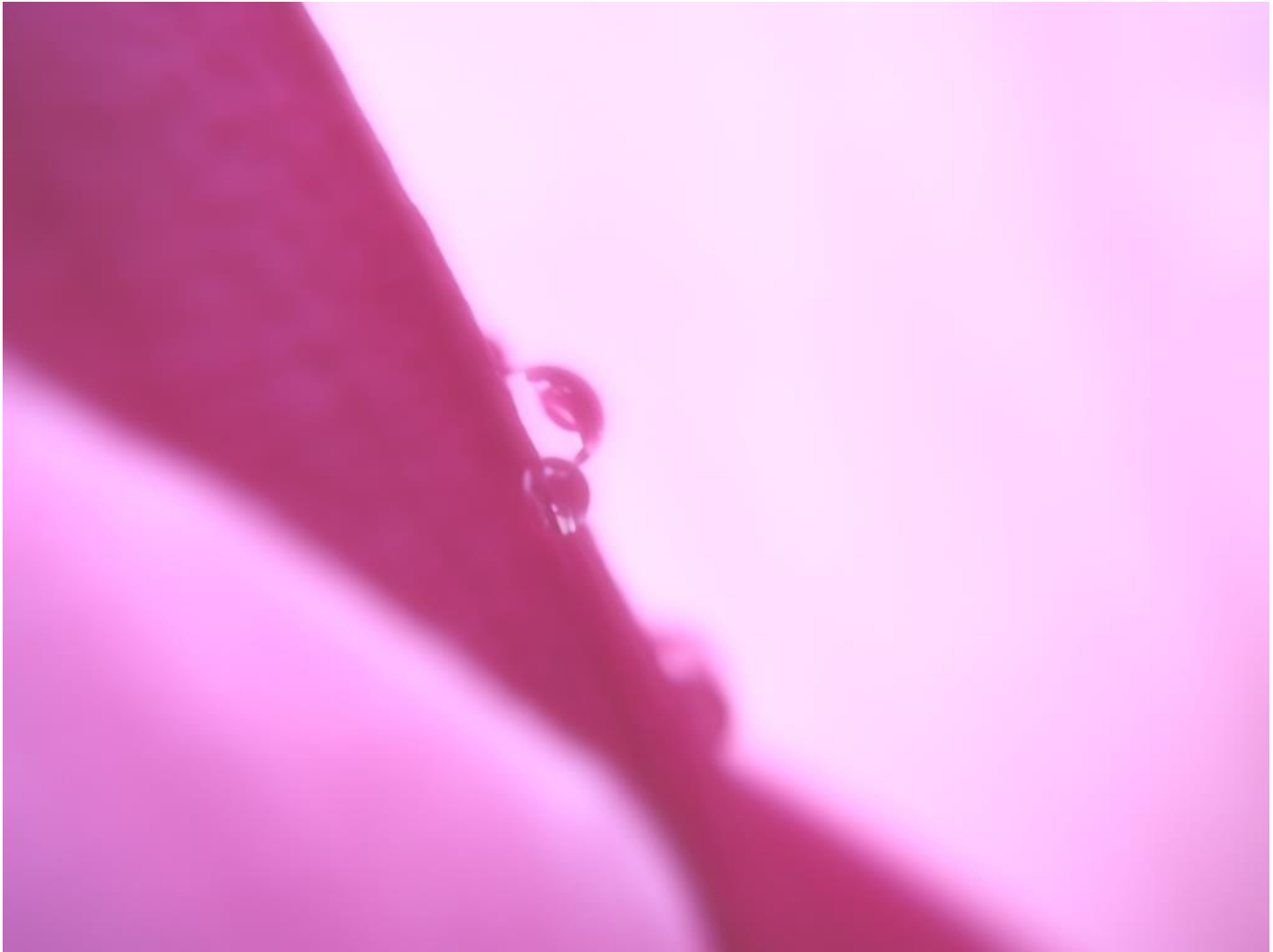


きみに会いたい。

何度も、

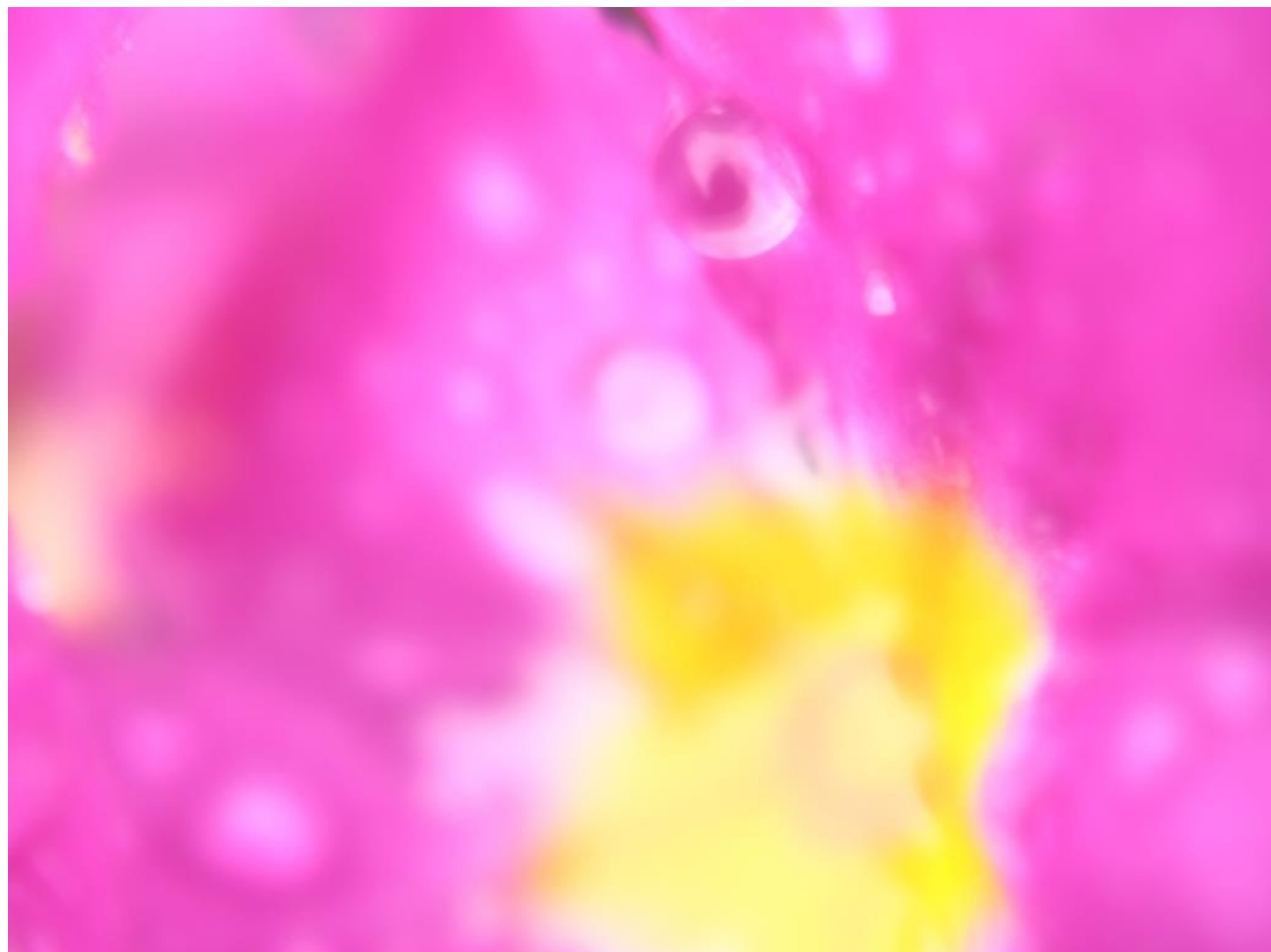
何度でも。



















遠い遠いはるか昔に、

広く、無限に広がる宇宙の中の、

小さな小さな青い星で、

ぼくたちは出会い、そして別れを、何度繰り返したことだろう。

すべては永遠に拡がる光の中で、

すべては永遠に繋がる愛の中で、

すべてはきみとぼくの、永遠に続く旅の中で・・・







きみは世界のどこにいても、ぼくを感じることができて、

ぼくはいつの時代にいても、きみのそばを離れない。

たとえそれが、どんなに苦しく、永遠を感じる別れでも、

ぼくたちは必ずまた会えると、信じている。

たとえそれが、お互いの存在を感じない、遙か宇宙の彼方でも、

ぼくたちの光はひとつであると、信じている。





永遠とも感じられる、それは一瞬の旅の中で、

ぼくはきみを感じ、信じよう。

永遠とも感じられる、そう遠くない未来に、

きみとぼくが、はじまりに戻るその日まで、

ぼくはきみを愛し、探し続けよう。







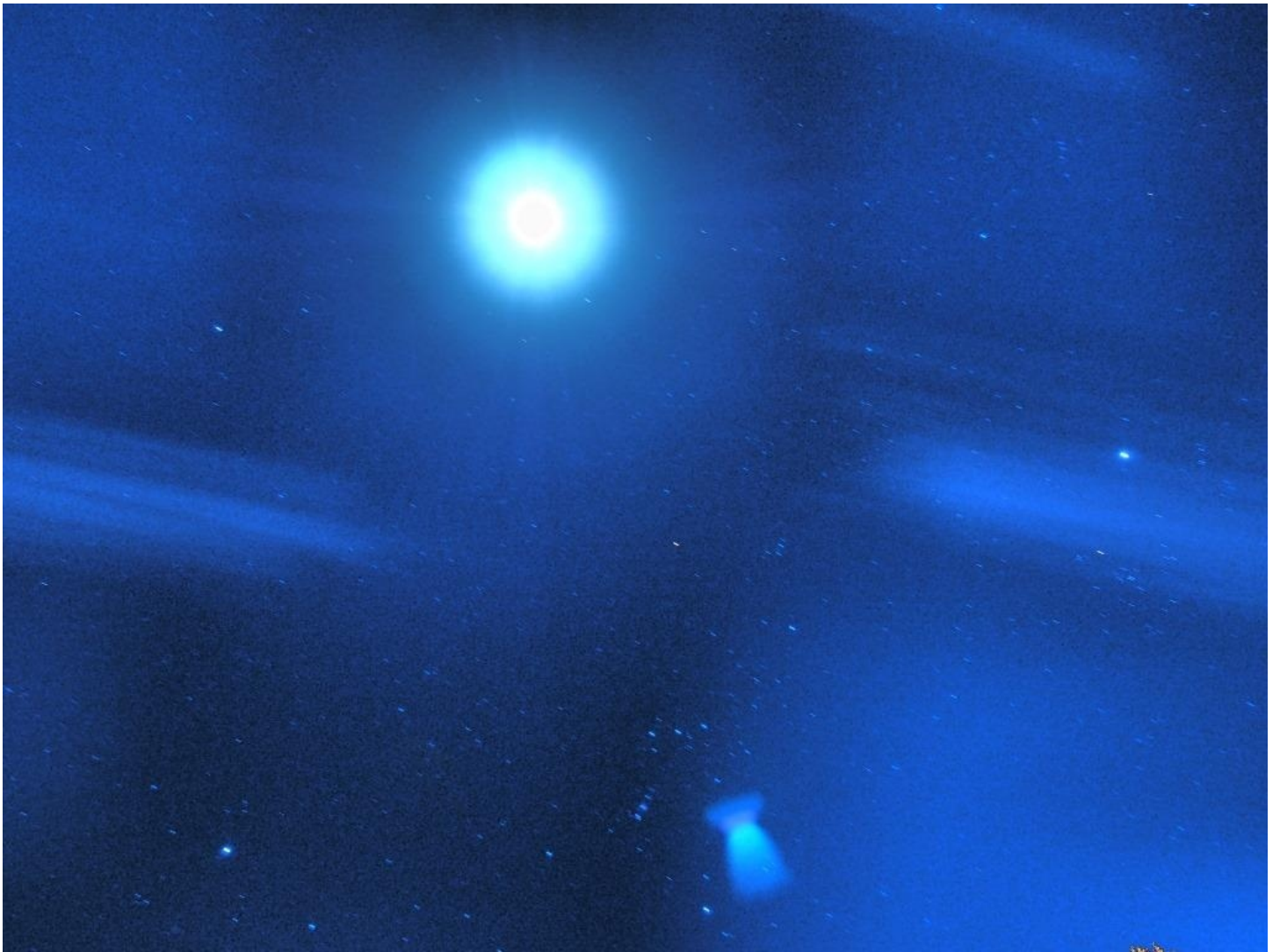
それが、永遠にかかってもかまわない、

ぼくたちは、いずれ会えるのだから。

それが、どんなに過酷な旅でも、

きみを信じる喜びと、また会えた時の喜びで、

永遠が一瞬になる。

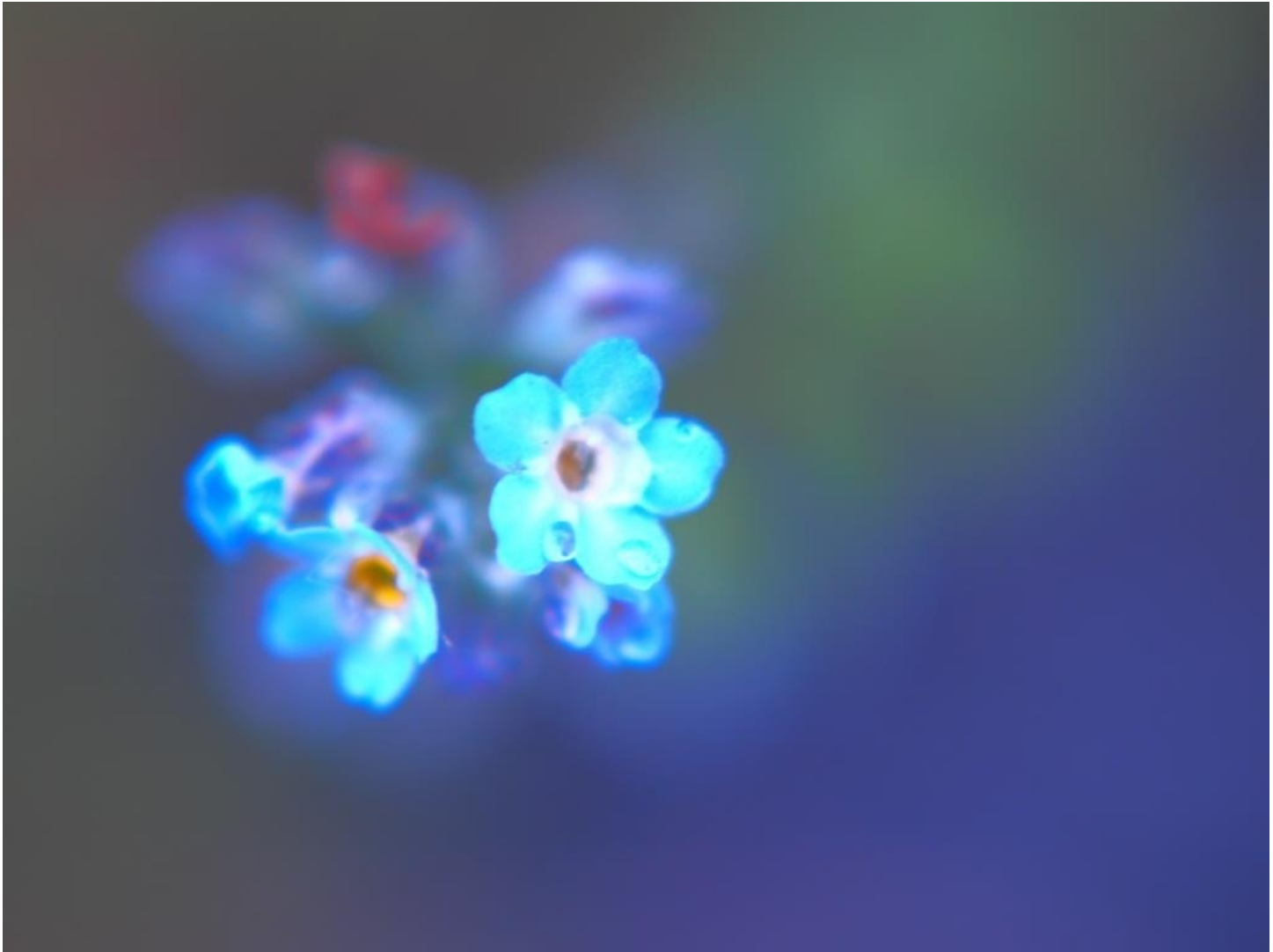


すべてはきみとぼくの、永遠に続く旅の中で、

この世界が、光に帰るその日まで、

ぼくはきみを愛し、探し続けよう。

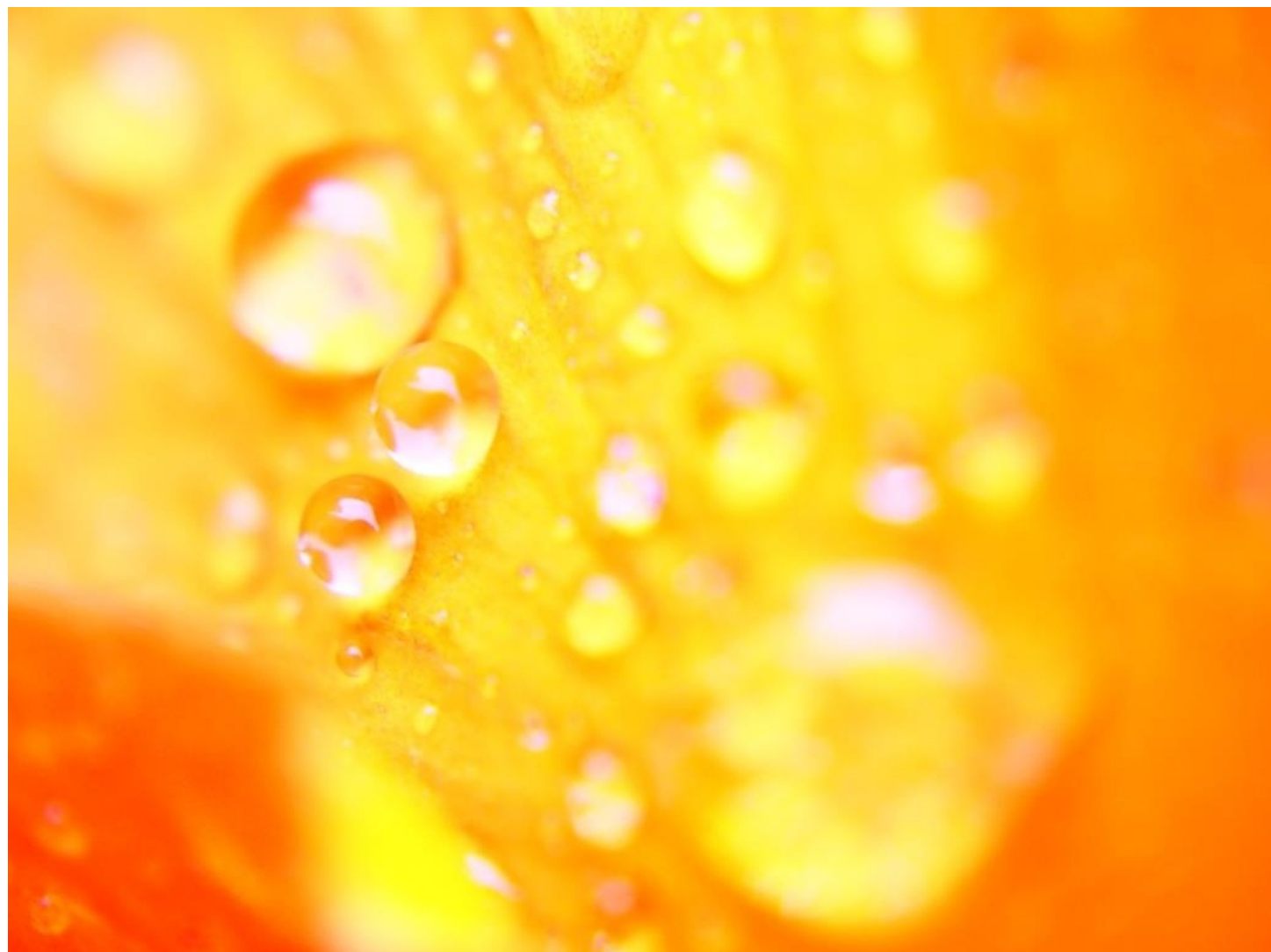




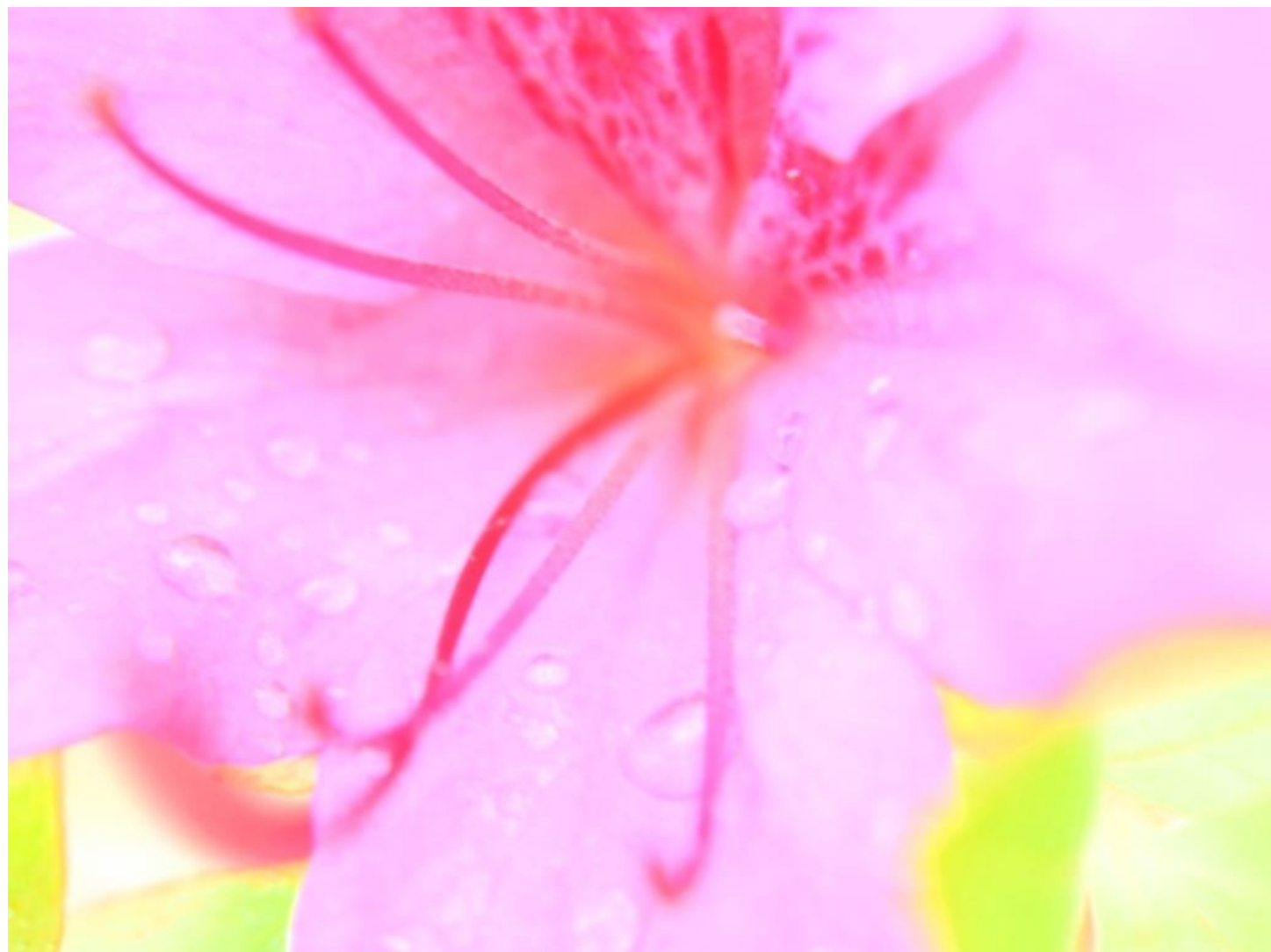
















私の心の中にあった、

ゝ創造性ゝを発揮する最後のカギは、

双子の魂への想いでした。

その扉が開かれた途端、今までのすべてが受け入れられ

初めて自分自身を、世界のすべてを、

愛することができました。

双子の魂への想いは、

誰しもが持っている、心に秘めているもの。

一つであったものが、

元に戻ろうとする、そこから ゝ愛ゝが生まれます。

この三次元という儚い現世の世界で、

そんな ゝ愛ゝを思い出してほしい。

そんな願いを込めて、この本を贈ります ✧

2016 07 01 晴日



永遠の「響き」をのせて...

いつかみんなが歌えるように。

ぼくたちはまで待つ。

限りなく大きな夢に包まれて

共に詠うのがうれしくて。

あなたと歌うのがうれしくて

ぼくの詩は始まったんだ。

あなたに会えたその日から、

あなたに会えたその日から、

ぼくの詩は始まったんだ。

あなたと歌うのがうれしくて、

共に詠うのがうれしくて。

限りなく大きな愛に包まれて、

ぼくたちは奏で合う。

いつかみんなが歌えるように、

永遠の、響きをのせて・・・✧

source message

遠い遠いはるか昔に

SOU

souのライブラリー : <http://p.booklog.jp/users/source-message>

souのブログ : <http://ameblo.jp/source-message/>

souのプロフィール : <http://profile.ameba.jp/source-message/>

感想はこちらへ...

<http://booklog.jp/edit/3/108071>

souへお問い合わせ...

<https://mailform.mface.jp/frms/sourcemessage/2c29j53an5i0>

ブックログ本棚へ...

<http://booklog.jp/item/3/108071>